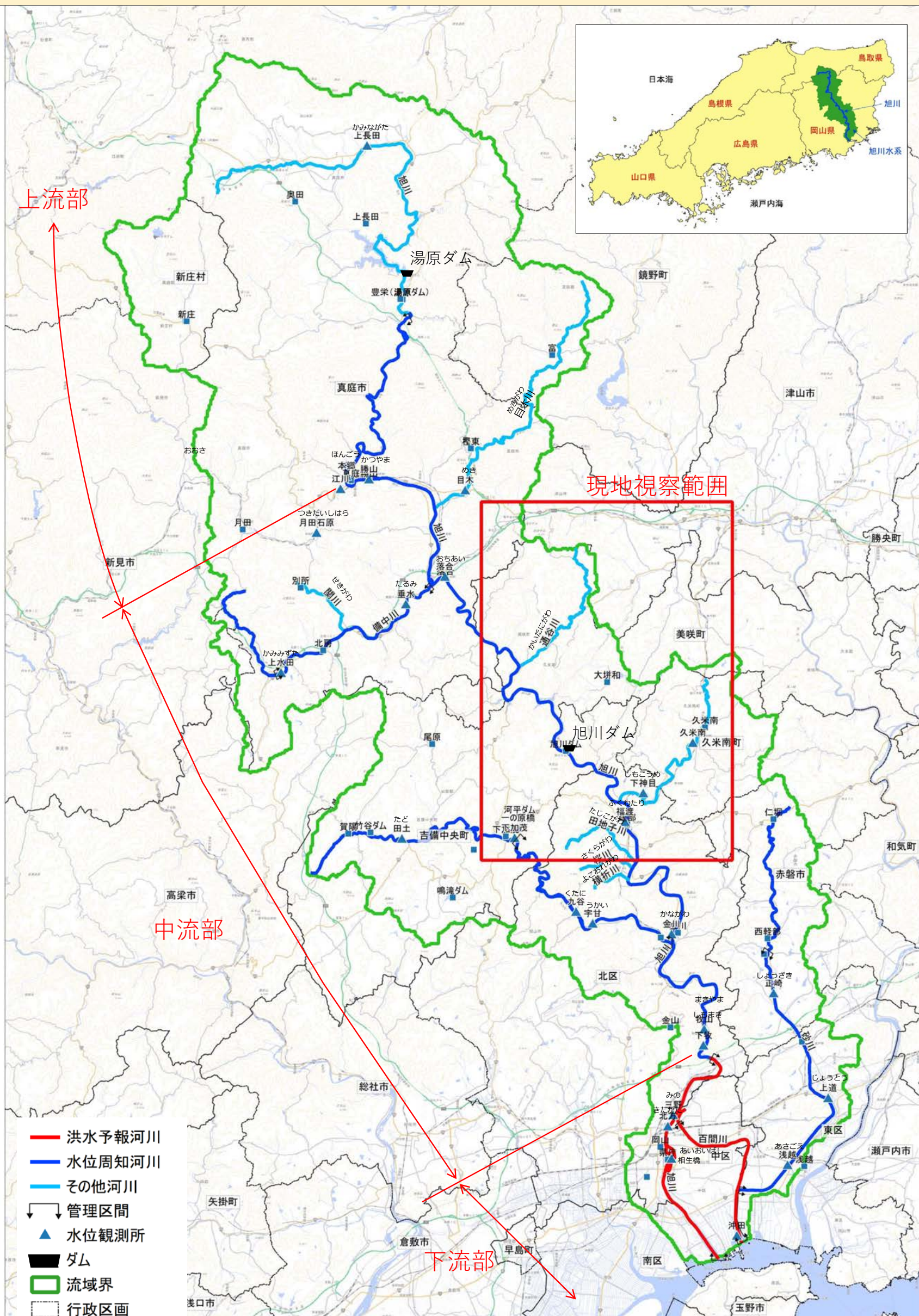
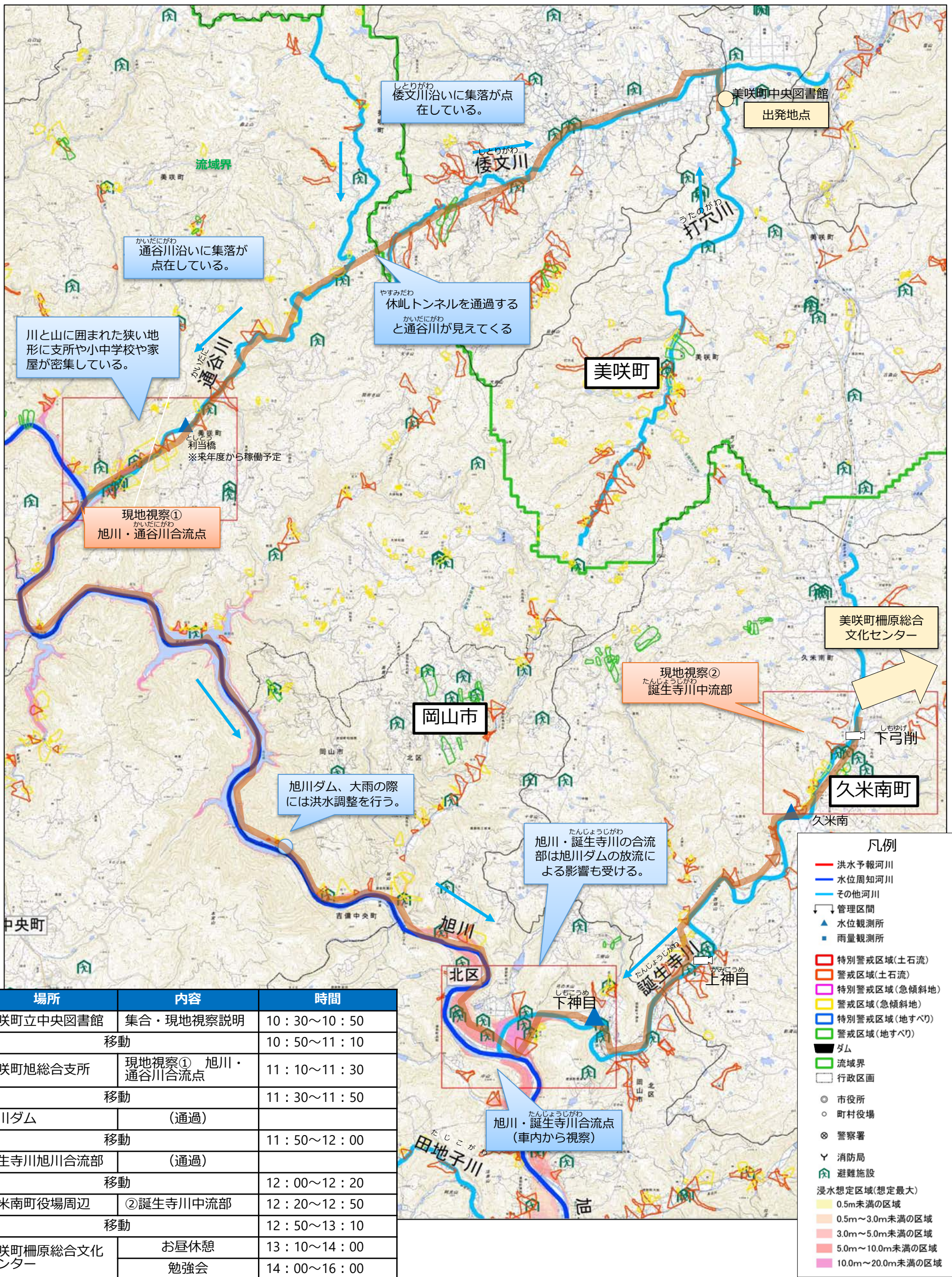


現地視察の目的：旭川水害タイムラインの水系全体への拡大、マルチハザード対応に向けて、上中流部の現地視察を行い水害リスクを把握する。



現地視察ルート



場所	内容	時間
美咲町立中央図書館	集合・現地視察説明	10:30~10:50
移動		10:50~11:10
美咲町旭総合支所	現地視察① 旭川・通谷川合流点	11:10~11:30
移動		11:30~11:50
旭川ダム	(通過)	
移動		11:50~12:00
誕生寺川旭川合流部	(通過)	
移動		12:00~12:20
久米南町役場周辺	②誕生寺川中流部	12:20~12:50
移動		12:50~13:10
美咲町柵原総合文化センター	お昼休憩	13:10~14:00
	勉強会	14:00~16:00

現地視察 ①旭川・通谷川合流点付近（美咲町旭総合庁舎）

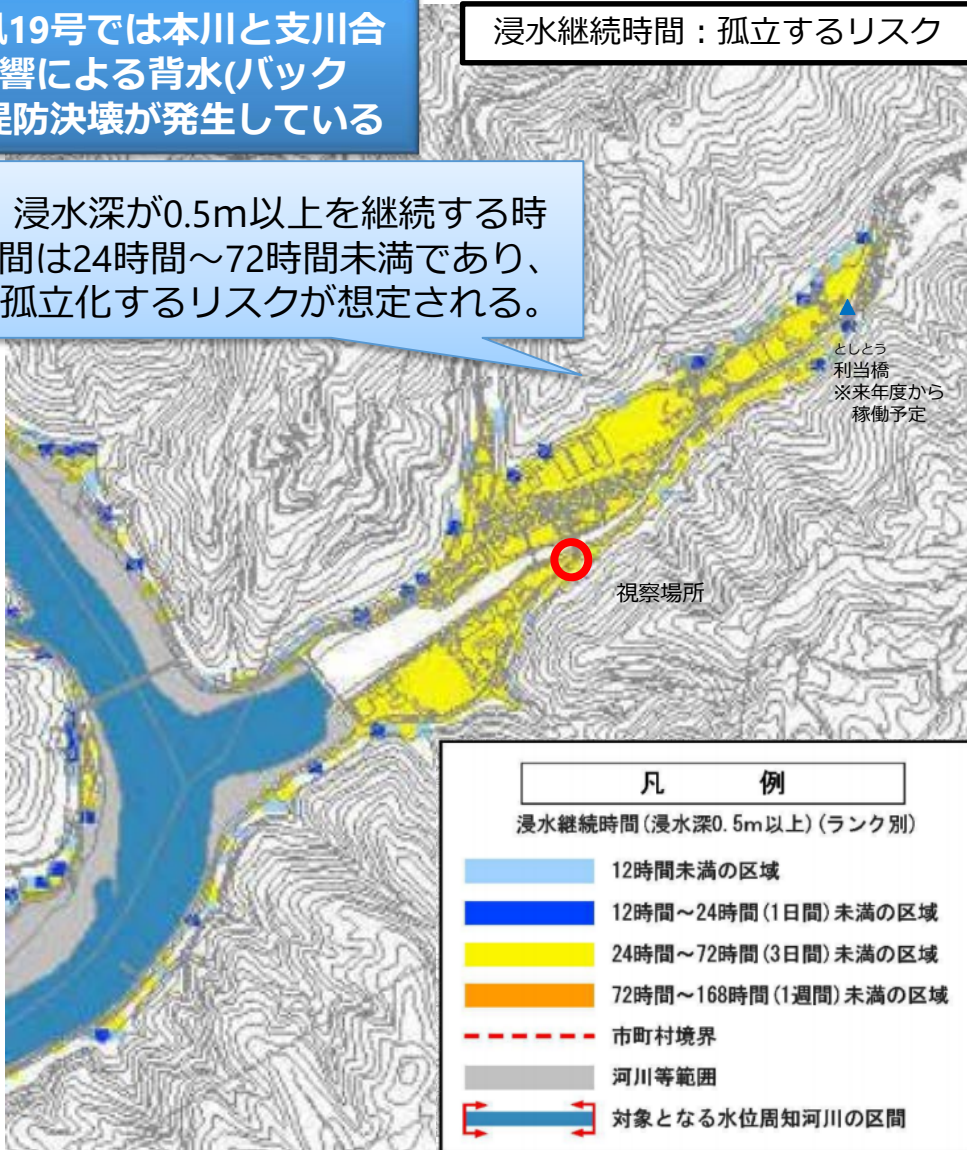
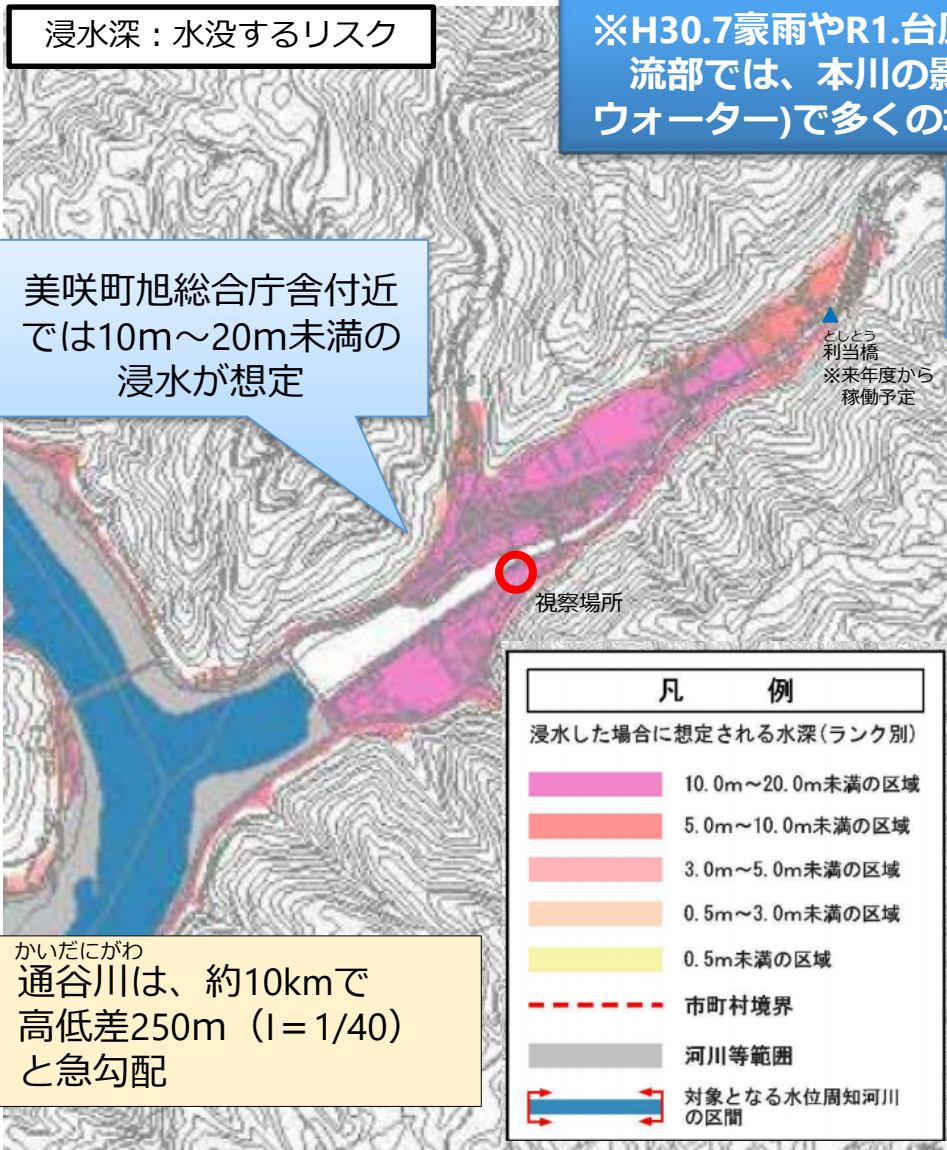
浸水深：水没するリスク

※H30.7豪雨やR1.台風19号では本川と支川合流部では、本川の影響による背水(バックウォーター)で多くの堤防決壊が発生している

浸水継続時間：孤立するリスク

美咲町旭総合庁舎付近では10m～20m未満の浸水が想定

浸水深が0.5m以上を継続する時間は24時間～72時間未満であり、孤立化するリスクが想定される。

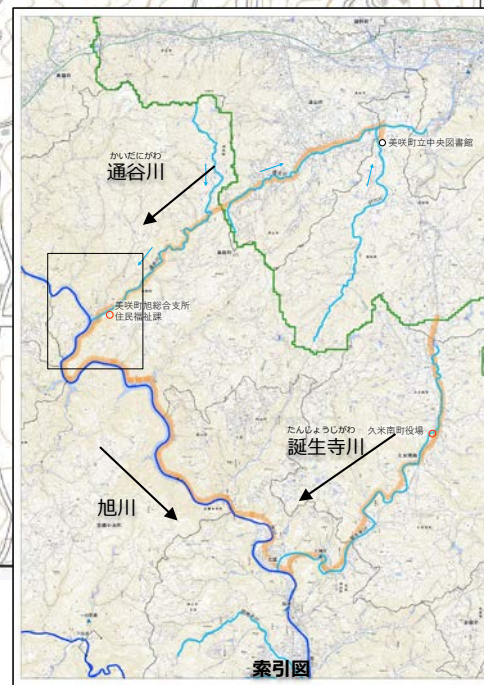


かいだにがわ
通谷川は、約10kmで
高低差250m (I=1/40)
と急勾配

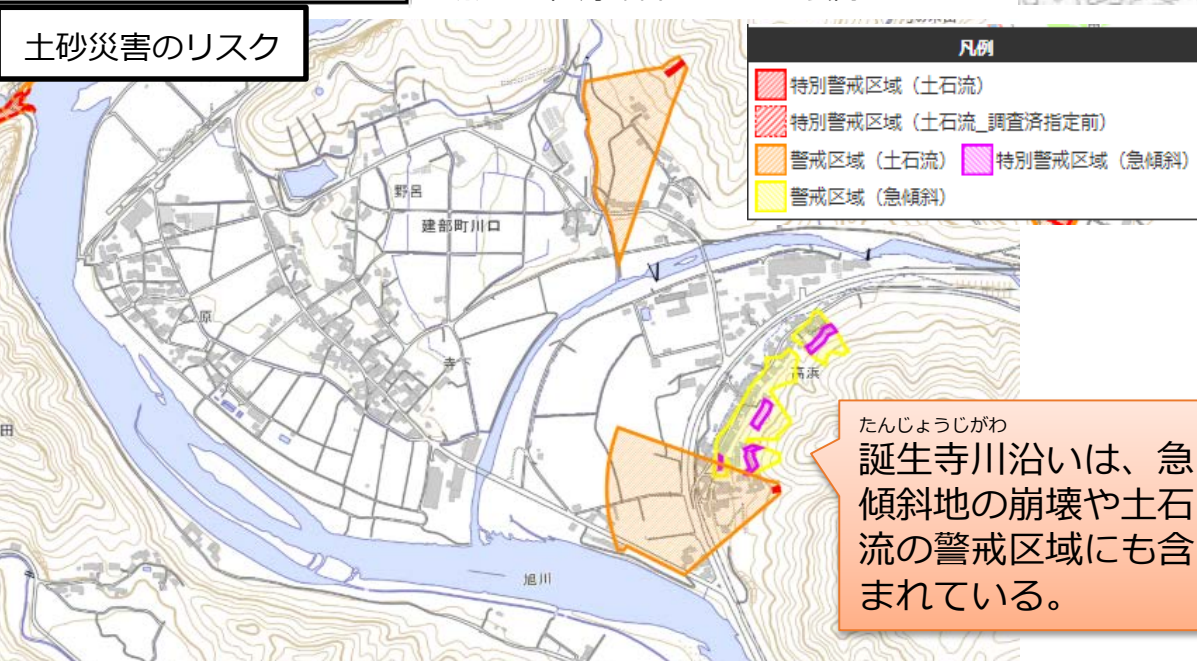
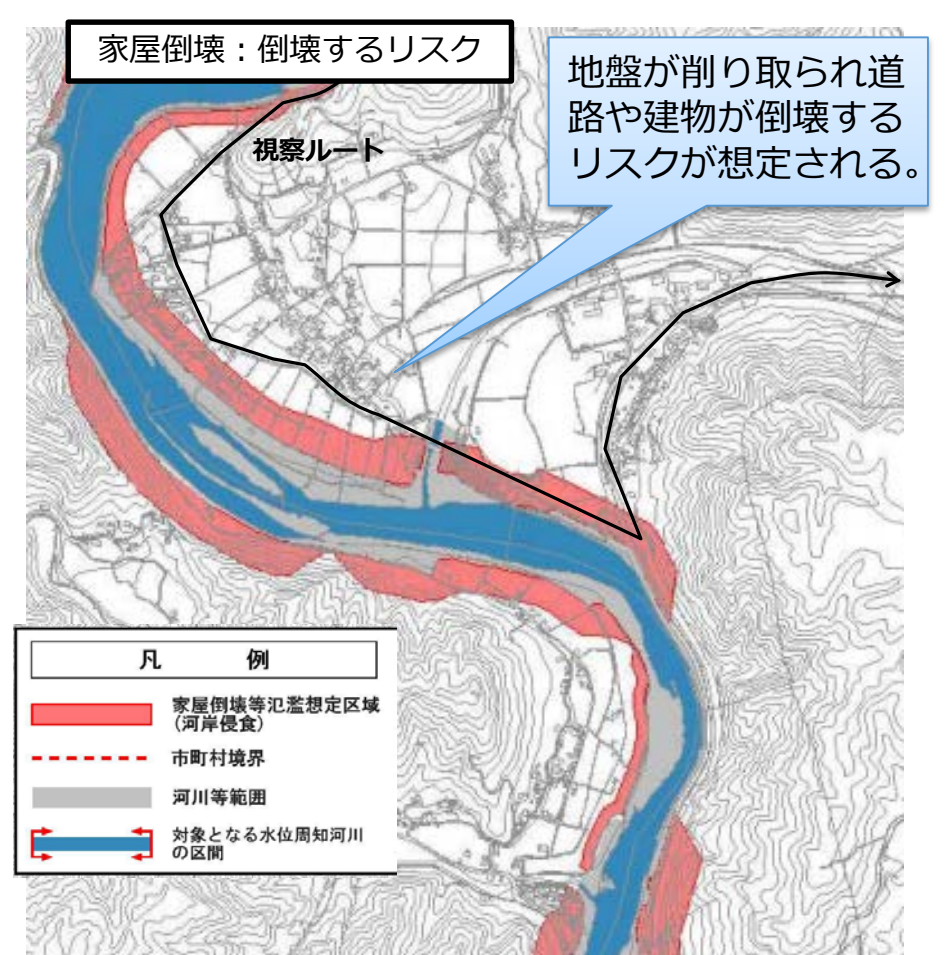
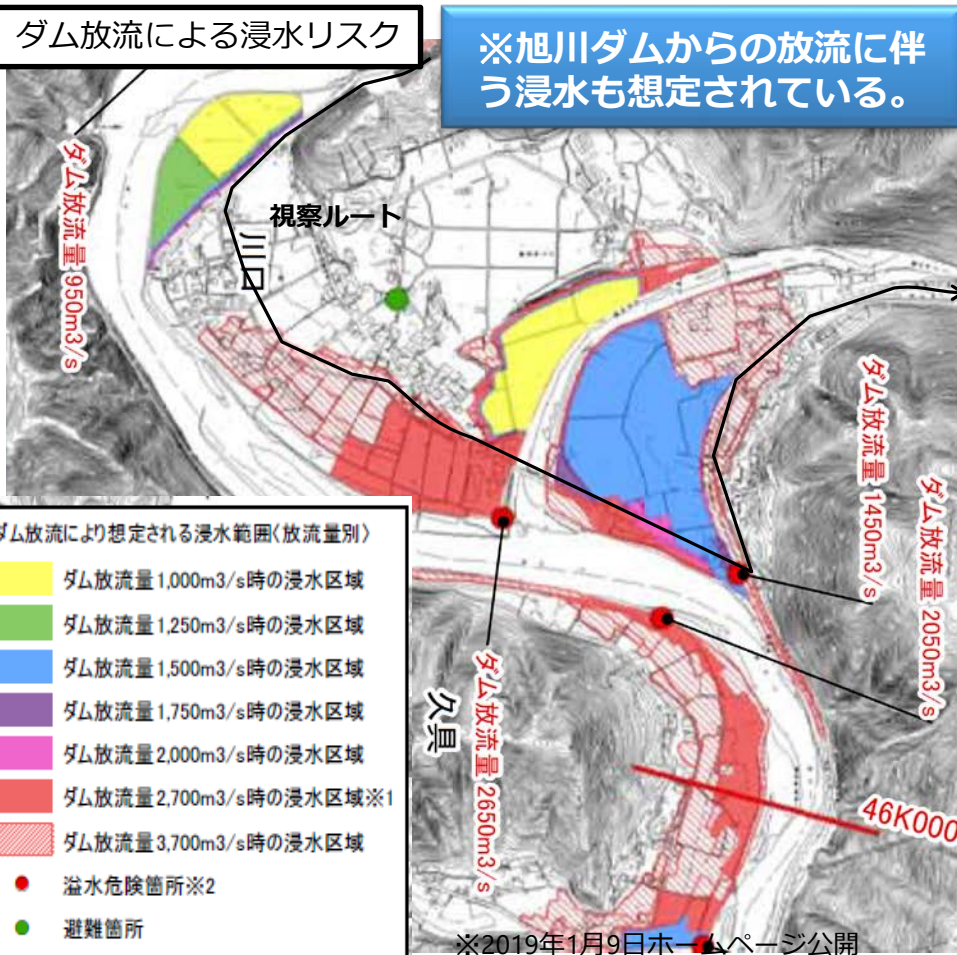
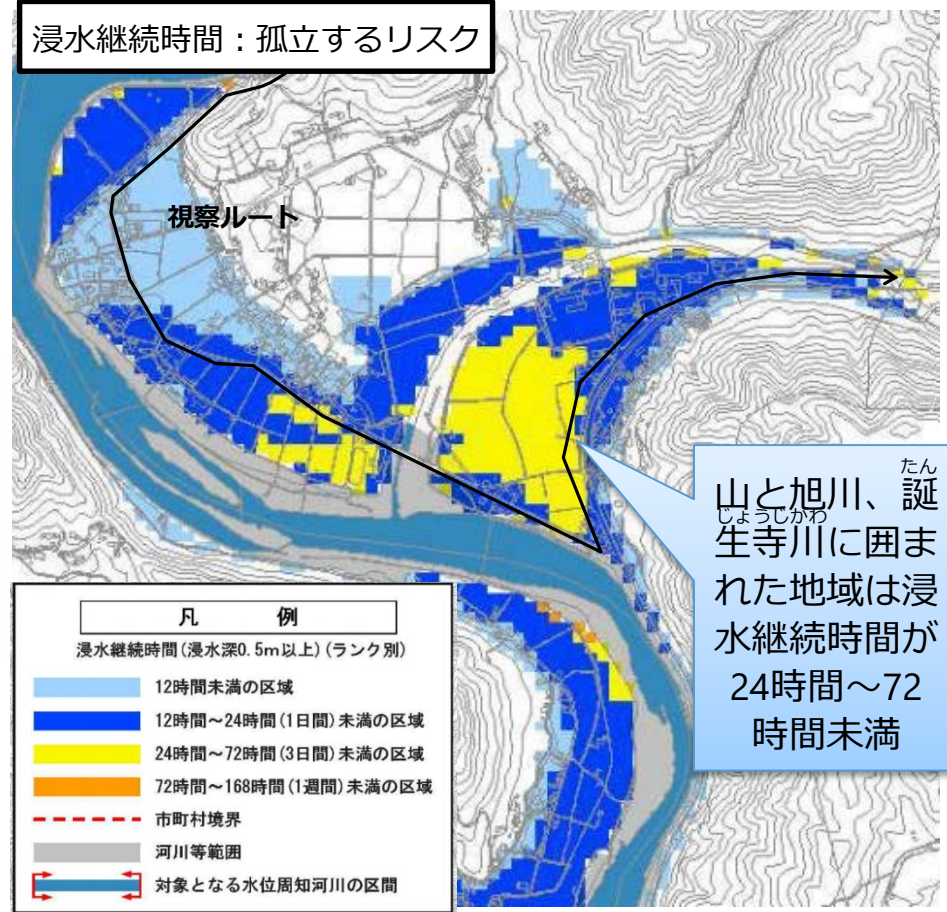
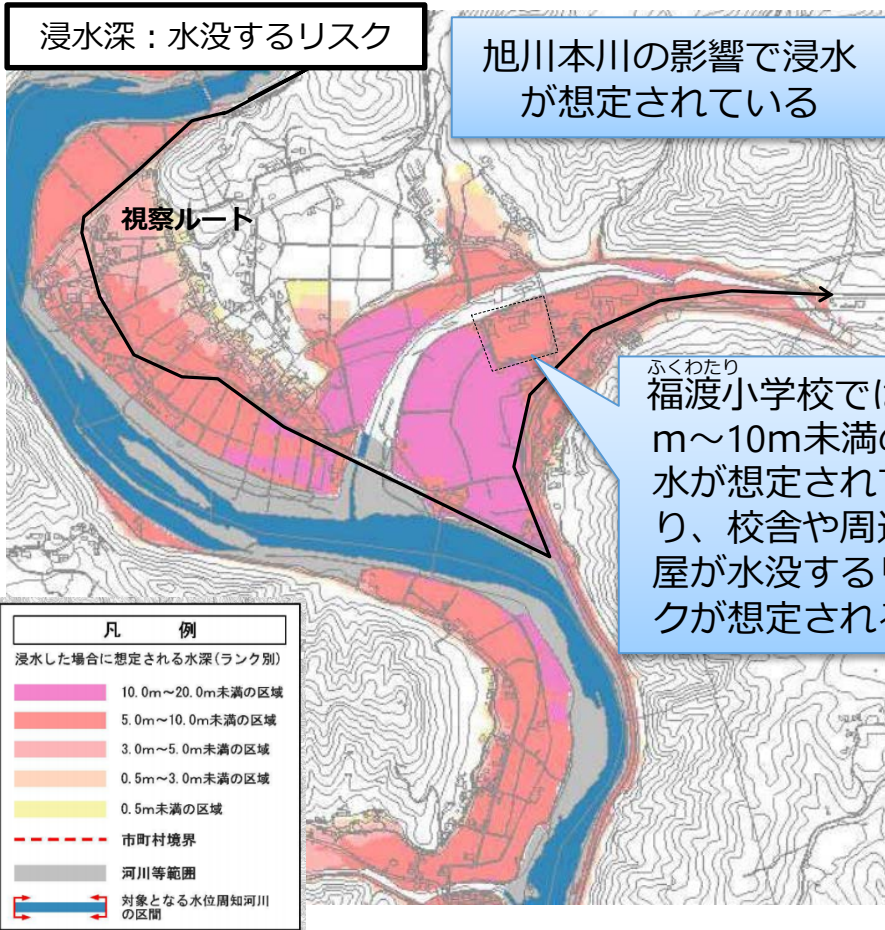
土砂災害のリスク

かいだにがわ
通谷川沿いは、急傾斜地の崩壊や土石流の警戒区域にも含まれている。

土砂災害警戒区域・特別警戒区域情報



国土地理院 使用承認(平28情使、第421号)
©PASCO/©INCREMENT P/おかやま全県統合型GIS



現地視察②：久米南町役場付近（誕生寺川中流部）

地形分類図

凡例

- 山地及び丘陵地
 - 中起伏山地
 - 小起伏山地
 - 小起伏山地 (特に起伏の小さい地域)
 - 丘陵地 (I) (大起伏)
 - 丘陵地 (II) (小起伏)
- 低地
 - 谷底平野・氾濫原
 - 扇状地
 - 河原
- その他
 - 人工改変地
 - 国道



水関係犠牲者のほとんどが洪水の可能性のある「低地」で発生している。※
 ⇒「低地」は洪水のリスクが高い地域

※2019台風19号による人的被害の調査 (速報2019年11月12日版) 静岡大学防災総合センター 牛山素行 より引用

たんじょうじがわ
 誕生寺川は、約14kmで高低差120m (I=1/117) と急勾配

土砂災害のリスク

土砂災害警戒区域・特別警戒区域情報



たんじょうじがわ
 誕生寺川の左岸側に多くの土砂災害警戒区域がある。

- ### 凡例
- 指定避難所 兼 指定緊急避難場所
 - 指定緊急避難場所
 - 特別警戒区域 (土石流 調査済指定前)
 - 警戒区域 (土石流)
 - 特別警戒区域 (急傾斜 調査済指定前)
 - 警戒区域 (急傾斜)
 - 警戒区域 (地滑り)

